

○現代世界の農業の現状と課題

【資料① 主要穀物の生産地と流通】

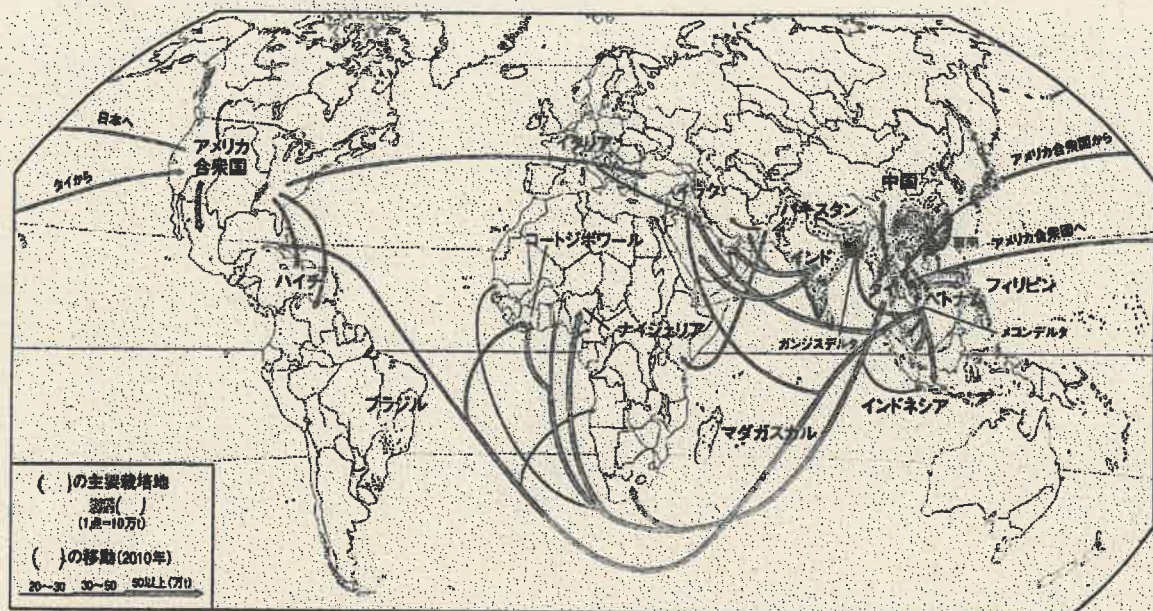


図1 () の生産地と流通

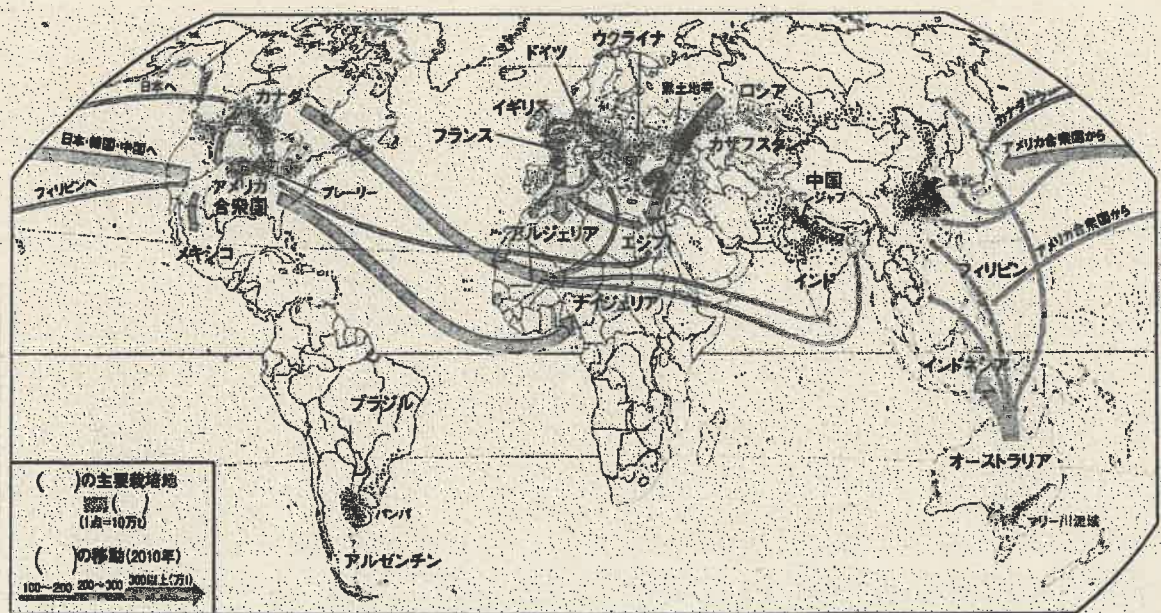


図2 () の生産地と流通

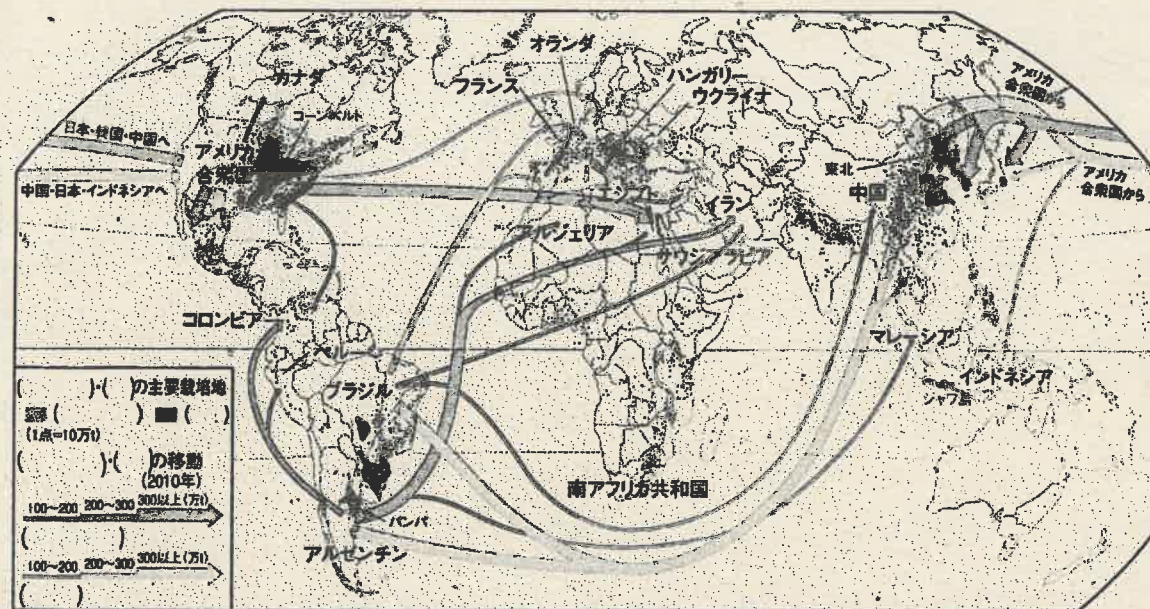


図3 () の生産地と流通

図1と図2から () と () の生産地と流通の特色について読み取ろう。

() の生産地	() の流通
() の生産地	() の流通

上記の特色をもたらす理由を、資料②を使ってグループで多角的に考えよう。(どの資料を使ったか明示する)

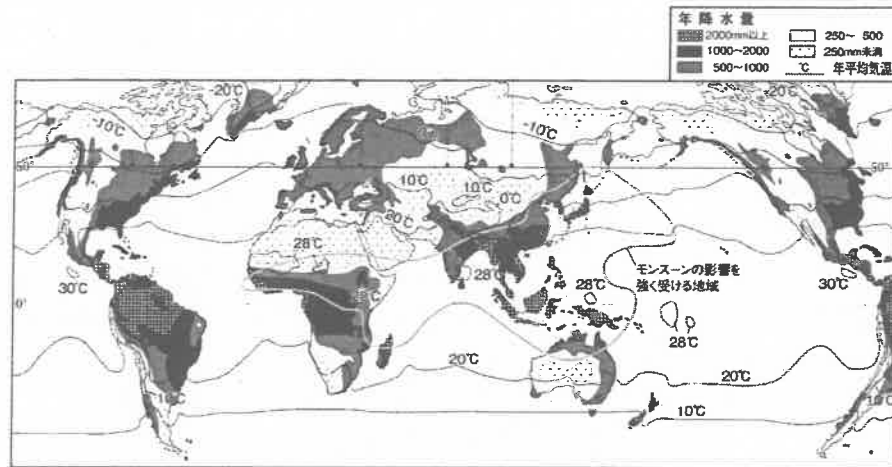


図4 世界の気温と降水量

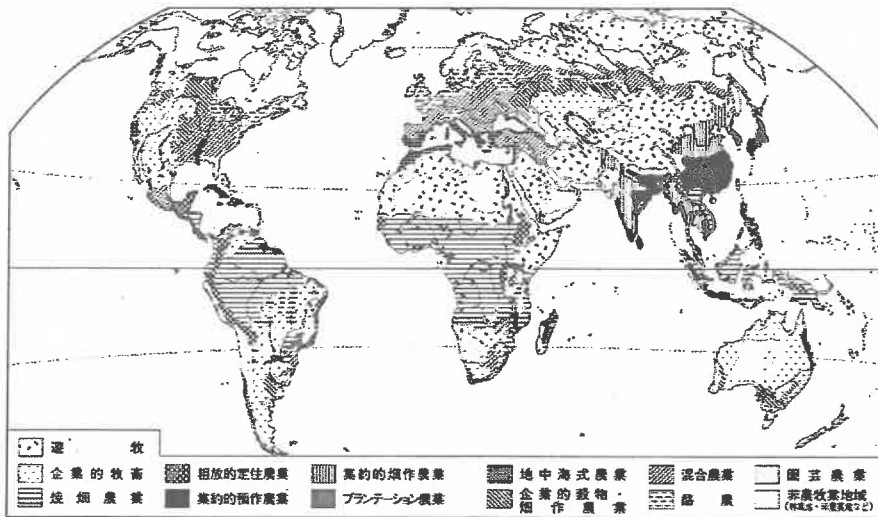


図5 世界の農業地域

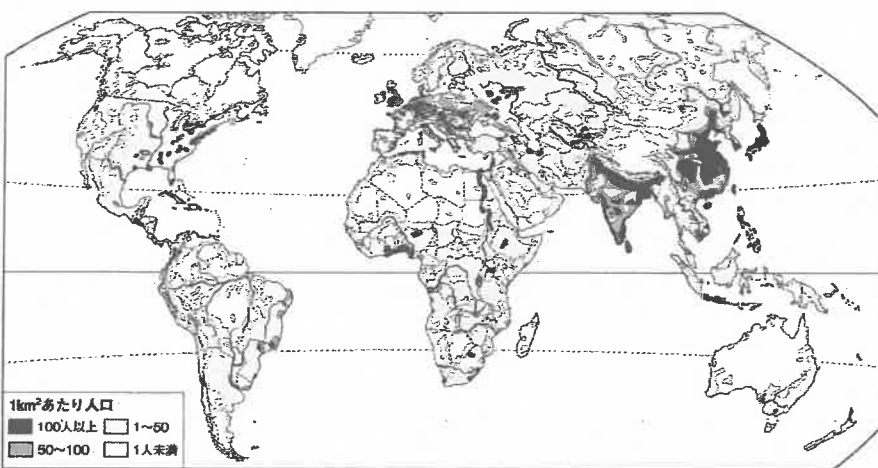


図6 世界の人口密度

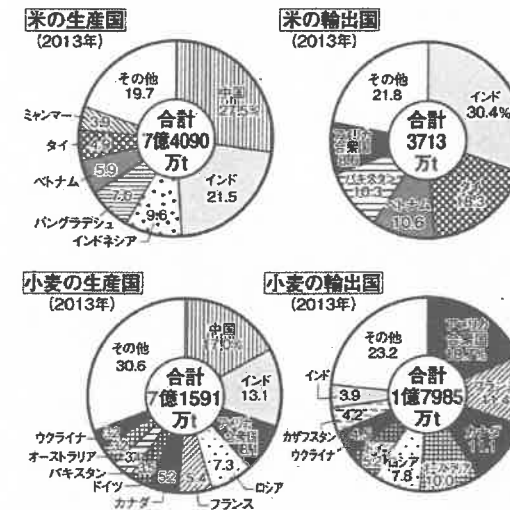


図7 米・小麦の生産国と輸出国

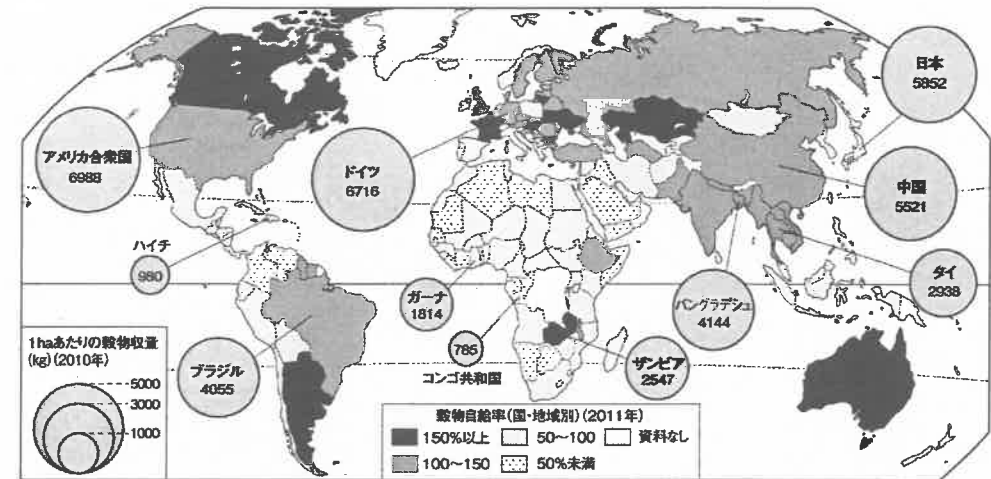


図8 世界の穀物自給率と1haあたりの穀物収量

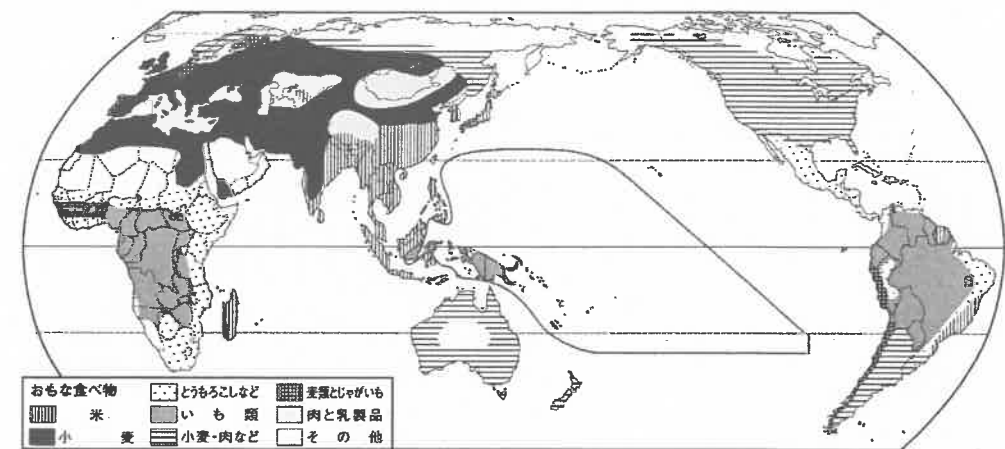


図9 世界各地の主な食べ物

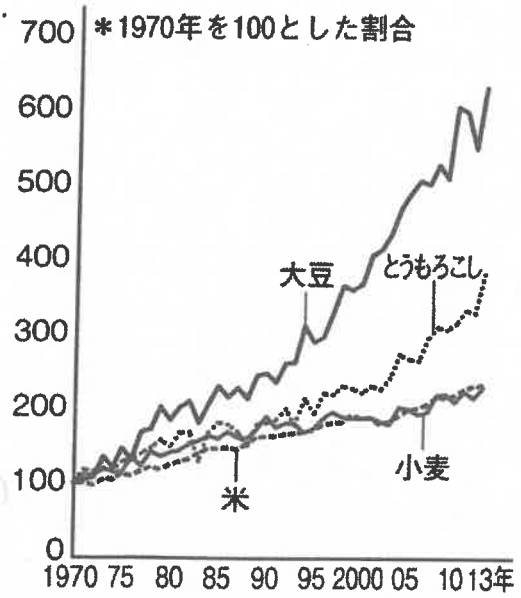


図10 主な穀物の生産量の推移

◇図10について、どのようなことが読み取れるか。

課題：

資料④の図11～16を参考に考えよう。

増加の背景

もたらす影響

自己評価 1 2 3 4 5

感想

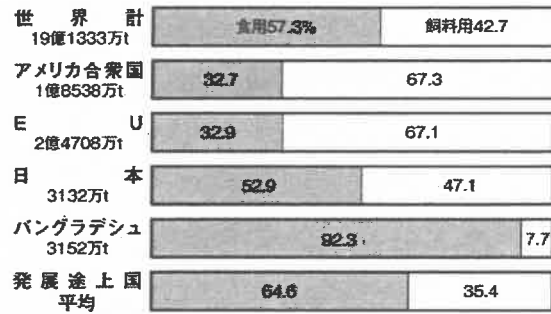


図11 世界の穀物の使われ方

肉1kgの生産に必要な飼料の量は、牛肉11kg、豚肉7kg、鶏肉4kg、鶏卵3kgとされる。(日本の飼育方法をもとにした、とうもろこし換算による試算)

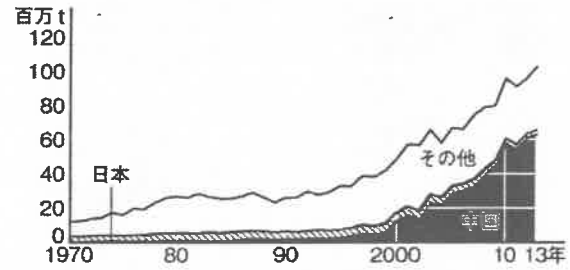
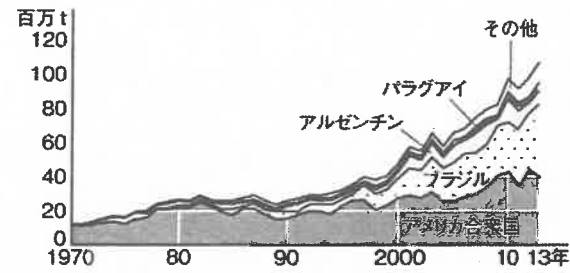


図12 大豆の輸出量(上)、輸入量(下)の推移

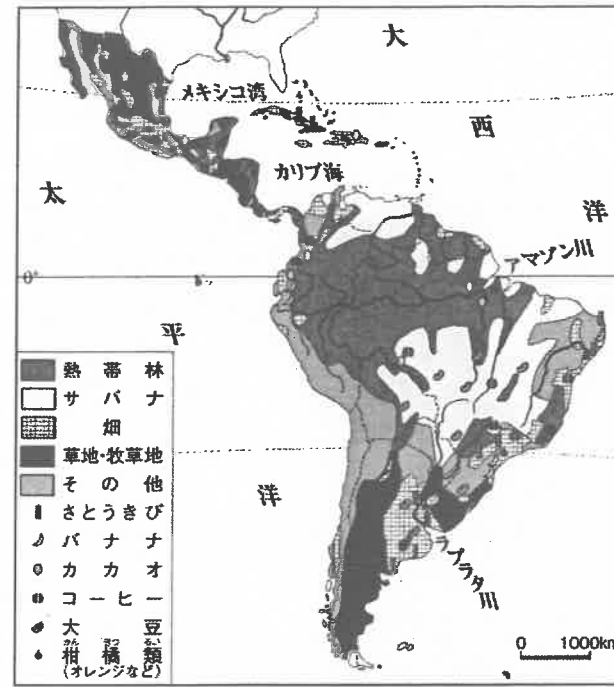


図15 ラテンアメリカの農業

南アメリカは、2016年現在、世界全体の大豆生産量の約半分を生産する世界最大の大豆生産地域である。中でもブラジルとアルゼンチンの大豆生産量の増加は著しく、2016年の生産量は第1位のアメリカ合衆国について、ブラジルが第2位、アルゼンチンが第3位となっている。

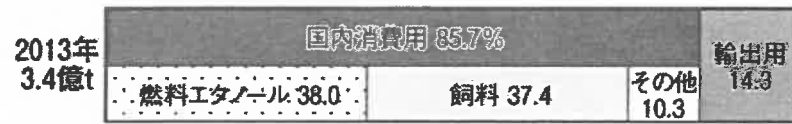
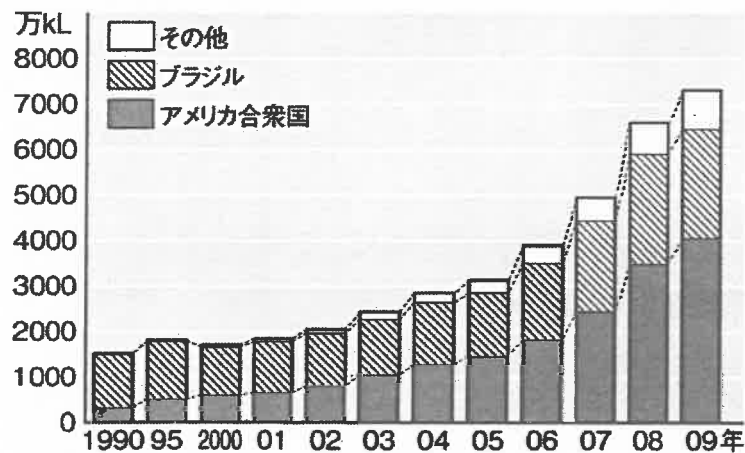


図13 アメリカ合衆国のとうもろこし需要の内訳



バイオエタノールの原料は、アメリカではとうもろこし、ブラジルではさとうきびである。

図14 世界のバイオエタノール生産量の推移

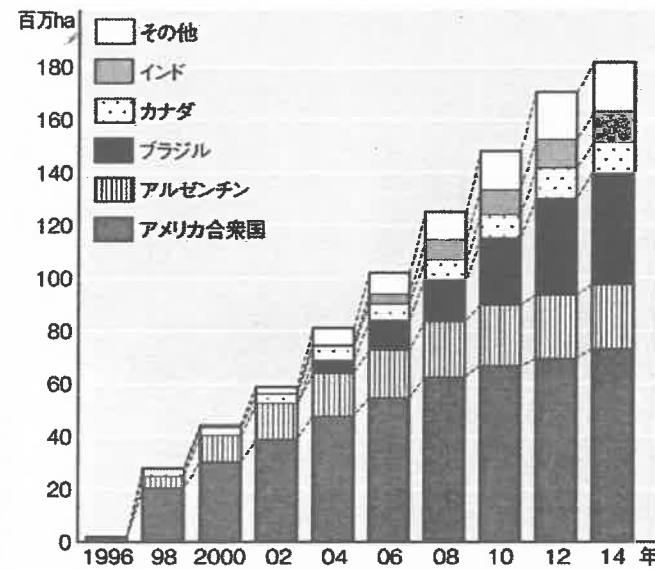


図16 遺伝子組み換え作物の栽培面積の変化

遺伝子組み換え作物の栽培面積が急速に拡大している国はどこだろう。